ひ と く ど り
人来鳥

大野町立中小学校
コミュニティ・スクールだより
第９号
令和２年２月２６日

うぐいすの別名：地域の皆さんが地域の学校に集い共に子どもたちを育てていく願いを込めて

道徳教育善行表彰式を行いました

大野町では、これまでも青少年育成町民会議が道徳教育を推進する中で、「児童生徒及び一般町民で他の範となる善行のあった者を讃え、表彰する」いわゆる善行表彰を行ってきましたが、今年度より、各学校においては学校運営協議会で推薦し、町の審査会の承認を経て、中小学校では２月 17 日に表彰式を行いました。今年度は、一般の部１名、児童生徒の部１団体について表彰していただきました。表彰内容を紙面にてご紹介します。

一般の部（個人）柿づくり体験学習指導者　様

３年生の総合的な学習の時間には、大野町の特産品であり、校区にも柿畑が広がる富有柿について学んでいます。その際、本で調べるなど教室で勉強するだけでなく、柿の木の近くで柿のお話を聞いたり、実際に柿の育て方を教えていただいたり、作業をさせていただいたりして、勉強できているのは、指導者の方がご指導やお世話をしてくださるからです。本校の子どもたちに貴重な体験学習の場を提供していただき、心より感謝申し上げます。

児童生徒の部（団体）あいさつ向上プロジェクト　　４～６年生　７名

プロジェクトチームのメンバーは、４年生以上の子が全員入っている委員会や、各クラスの係の仕事とは別に、中小学校のあいさつをよりよくするために、進んで集まってくれた子たちです。「ピカピカあいさつ」を合言葉に全校の取組を中心となって進め、今では「あいさつが飛び交う中小学校」に近付いてきたことを感じています。このような学校全体をよくする活動をリードし頑張ってきてくれた７人が、このたび表彰していただけることになりました。

3学期　あいさつの取組　途中経過より

　ぼくたちの学級では、何かキャンペーンがあると、いつも全員がやる気をもって取り組みます。だから、今回のあいさつキャンペーンでも、みんなが「１０人以上にあいさつ」という目当てを意識して取り組んでいるので梅の花の金シールが続いています。
　どうしてみんなが頑張るかというと、せっかくキャンペーンに取り組むなら一番いい金シールがとれた方が自分たちがうれしいからです。金シールが続くと、それを続けたいという思いがもっともっと強くなっていきます。何といっても、あいさつを頑張るとやっぱり気持ちがいいので、また頑張ろうと思えます。そうやって、みんなが思っているから、このような結果になっているのだと思います。

　左記の文章は、３学期のあいさつの取組を進める中で、目当てを達成して取組表に毎日金色シールが並ぶ４年生の代表児童が、児童朝会で話してくれた内容です。クラス皆で一丸となって積極的に取り組む様子が伝わりました。
　また、プロジェクトメンバーでは、次のような手応えを話し合っています。

〇誰にでもあいさつしようと努力している人
　名前を呼んであいさつしている人が増えた
〇あいさつの声が聞こえない人は減った
〇目上の人にお辞儀をしてあいさつできる人
　明るく気持ちのよいあいさつができる人も
◎自分たちが率先してあいさつしていくこと
　と呼びかけを続けていくことを頑張ろう！

岐阜県ふるさと教育表彰「優秀賞」をいただきました

　中小学校では、善行表彰でご紹介した３年生の柿づくりの学習以外にも、地域の方にご協力・ご指導をいただいて、ふるさとのすばらしさを様々に学んでいます。
　例えば、４年生が公民館祭りで発表した地域のお祭り・お囃子のこと、５年生が田植えや稲刈りを体験する米作りのこと、６年生が竹中半兵衛をはじめ、地域の歴史についてお話を聞いたり見学に行ったりすることなど、中小校区・大野町のよさに気付いたり、誇りに思ったり、大切にしたいと考えたりするふるさと学習を頑張っている学校として認められ、今回の受賞となりました。
　これも、今年度立ち上げました学校運営協議会を核に、地域の皆様が「地域の子どもたちのために」「子どもたちとともにできることを」と、常日頃よりご尽力いただけるおかげです。今年度も、年間を通して多くの方にお世話になり、本当にありがとうございました。今後もより一層、地域の皆様とのふれあいを深め、ふるさとの魅力を知って、ふるさとへの誇りと愛着を育む教育活動を推進していきたいと思います。

第3回中小学校運営協議会を開催します

　２月２８日（金）、「はばたけ６年生の会」の参観に続いて、今年度最後の運営協議会を行います。初年度の総括と次年度の方針・計画を中心に、今年度学校評価、最近の学校・地域の話題についても、委員の皆様からご意見をいただき、協議を深める会にしたいと考えています。会を残していますが、今年度委員の皆様には、大変お世話になり感謝申し上げます。